



枕崎市

令和3年2月号

地域学校協働活動だより

インターネットでの枕崎市ホームページの検索方法

枕崎市地域学校だより

ホームページ
QRコード



発行
枕崎市
教育委員会
生涯学習課

枕崎市内では学校応援団などのボランティアの方々が、コロナに負けずに子供たちと様々な地域学校協働活動を行っています。

「地域学校協働活動だより」は枕崎市のホームページにも掲載されていますので、QRコードやパソコンで検索してご覧ください。

～子供たちが「子火」を運んで「親火」に点火～

田布川集落 鬼火焚き

田布川集落で1月17日に毎年恒例の「鬼火焚き」が行われ、「コロナ退散」「無病息災」を願う大きな炎が燃え上がりました。



今年は田布川公民館近くの田んぼに鬼火焚きのやぐらが組まれましたが、子供たち25人が子火を持って集落内を練り歩き、やぐら前の広場で待ち構える大人たちのたいまつに火をともし大役を務めました。

その後、火矢を合図に大人たちの親火でやぐらに火を付け、鬼火焚きの炎が勢いよく燃え上がりました。

燃え盛る炎をバックに「火の神乙女太鼓 爽」の太鼓演奏と「枕崎舞炎鯉」のよさこいが披露されました。サプライズで花火も上がって、大きな歓声が上がっていました。



～高齢者とグラウンドゴルフで交流～

別府中学校

別府中学校2年生と高齢者のふれあい交流グラウンドゴルフ大会が、12月16日に別府中学校の校庭で行われました。

中学生と高齢者、学校の先生方で5チームを作って2ラウンドのプレーでしたが、別府校区老人クラブとグラウンドゴルフ同好会の方々がボランティアで参加してくれました。

高齢者に打ち方を指導してもらいましたが、最初はなかなか思うように球が転がらなかった生徒も、プレーを重ねるうちに上手になっていきました。

この日は北風の吹きすさぶ寒い日でしたが、たまにお日様が顔をのぞかせてくれて、和気あいの楽しい交流となりました。



～枕崎弁の手作り絵本で読み聞かせ～ 立神小学校

手作り絵本は、駅前観光案内所の長野幸造さんが作成したもので、「ちゃんたっがうんーみっじかひっ」など、4冊の枕崎弁の絵本を子供たちに読んで聞かせました。

長野さんが枕崎弁で絵本を読んで、それを担任の先生が標準語で訳す、というスタイルで読み聞かせを行いましたが、普段昔ながらの枕崎弁を聞くことがない子供たちは、興味津々で聞き入っていました。

読み聞かせの後は、昔の釣り竿と餌木を使ってミズイカ釣りの実演を行い、最後は「ハッピーおじさんの貝」のプレゼントもあって、子供たちは大喜びでした。

※「ちゃんたっがうんーみっじかひっ（お父さん達の海ーミズイカ釣り）」の絵本は枕崎市立図書館にあります。是非枕崎弁の絵本をご覧ください。

立神小学校では11月19日に3年生の方言学習の授業で、枕崎弁の手作り絵本の読み聞かせを行いました。



～地域の公民館長が持久走大会の見守り～ 枕崎小学校

枕崎小学校の持久走大会が、12月4日に全校生徒が参加して行われました。

1、2年生は校庭の中を走りましたが、3年生以上は校庭から学校周りの市街地に繰り出しての持久走大会でした。



子供たちの安全確保のため、走路監視をPTAの体育部を中心に行っていますが、今回は3名の地域の公民館長さんも参加して、交通整理など子供たちの見守りを行いました。

地域の人達に見守られ、好天にも恵まれて、子供たちは力いっぱい街の中を駆け抜けて行きました。

～家庭科で調理の指導～ 別府小学校

5年生は「食べて元気に」というテーマで、お米を研いで、鍋でご飯を炊き、大根と豆腐とネギの入った、美味しい味噌汁をグループで協力して作っていました。

6年生は「くふうしよう おいしい食事」というテーマで、卵やジャガイモ、タマネギ、ベーコンなどの身近な食材を使った献立を考え、調理計画を立てて調理しました。

グループごとにボランティアの方に指導を受けながら、ジャーマンポテトに粉ふきいも、目玉焼きなど、美味しい献立が出来上がりました。

別府小学校では12月10日に5年生、12月15日に6年生のクラスで家庭科の調理の授業があり、「食生活改善推進員」の方が2人ずつ、ボランティアで調理のサポートを行いました。



学校応援団ボランティア 募集中！ 詳しくは生涯学習課まで TEL72-0170